



南区成人式を終えて

南区成人式実行委員長 西村 保 廣



堺市成人式が1月10日(祝)に開催されました。南区では、コロナ感染症の影響で昨年と同様に2部制で開催しました。昨年は成人式の開催間際に感染が拡大したため、区長の計らいで区役所の職員の方々と実行委員を中心に式典を開催させていただきました。本年は各校区から青少年指導員も式典を支え、無事に成人式を終了することができました。区役所の皆様をはじめ実行委員、青少年指導員の方々に感謝いたします。南区は新成人の対象者が1,426名と多く、施設利用基準である施設定員数の1/2以下という基準に適合するためには、どうしても2回に分ける必要性がありました。ここで困ったのが、新成人の着付け時間の問題です。春ごろから区役所には、開催方法と開催時間の問い合わせが入ります。開催時間によって着付けの時間が変わってくるためです。成人式実行委員会の最初の仕事は、早急に校区の割り振りを決定することでした。区会議で各校区幹事に了解を得て、区役所のHPで公開。ここから成人式開催に向けて進んでいきました。

今回の成人式のアトラクションは、実行委員の強い要望もあり、南区恒例の恩師からのビデオレターを上映することになりました。成人式当日に上映した時、懐かしい恩師の顔が映るたびに会場からは歓声が上がリ、中学校時代の思い出が蘇って来ているようで、一気に会場が和みました。ふと感じたことですが、例年だと多くのベテランの先生に出演して頂いていたのですが、今回は若手の先生が多く、ご出演頂く先生も世代交代をしたような印象で、ますます我々と若者との世代間交流の必要性を実感した次第です。

南区では、大半の校区で成人式の後に「新成人を祝う会」を開催しています。これは、各校区の青少年指導員、もしくは青少年指導員と連合自治会の方々と共催で、校区の新成人をお祝いするものです。昨年から飲食は禁止としていますが、小中学校の恩師を招いて、新成人が近況を報告、記念写真を撮影するなど、成人の思い出(二十歳の思い出)を同窓会の雰囲気の中で楽しく催されています。新成人の保護者の方も一緒に会場の設営や後片付けまで手伝って頂き、「新成人を祝う会」の開催を支えて頂いている校区もあります。

成人式を迎えた新成人にとっては、人生の一つの通過点かもしれませんが、新たな旅立ちに向けて、社会の一員として一歩を踏み出したことにお祝いを申し上げますとともに、今後、益々活躍されることを期待しています。

令和4年(2022年) 成人式一覽

	会場	部	参加者数	合計	対象者数	参加率
堺区	フェニーチェ堺	1部	333人	875人	1,412人	62.0%
		2部	542人			
中区	ソフィア・堺 (教育文化センター)	1部	507人	938人	1,293人	72.5%
		2部	431人			
東区	初芝体育館	1部	564人	564人	779人	72.4%
西区	家原大池体育館	1部	487人	1,033人	1,532人	67.4%
		2部	546人			
南区	国際障害者交流センター (ビッグ・アイ)	1部	509人	1,017人	1,426人	71.3%
		2部	508人			
北区	堺市産業振興センター	1部	559人	1,104人	1,625人	67.9%
		2部	545人			
美原区	美原文化会館(アルテベル)	1部	344人	344人	429人	80.2%
合 計				5,875人	8,496人	69.2%



新成人の言葉



南区 福泉中央校区 上松夏林さん
駒田紅海さん

この度は、私たち新成人のために、このような素晴らしい式典を催していただき、誠にありがとうございます。
昨年から続くコロナ禍のこともあり、式典催行に関して、多くの制約があったと思いますが、開催に向けご尽力いただきました関係者の皆様に、新成人を代表して厚く御礼申し上げます。
そして、新成人としてこの式典を迎えることができたのも、この20年間いつも身近な方々の支えがあったからこそと感じております。心より感謝申し上げます。

私たちが生まれた年は、21世紀の始まりの節目の年でした。

国内では小泉政権が発足し、様々な構造改革が打ち出されました。

また、ユニバーサルスタジオジャパンと東京ディズニーシーが開園し、さらにジブリ作品である「千と千尋の神隠し」が世界的に大ヒットするなど、様々な分野で新しいものが誕生した年でもあります。

このように変化や時代の流れが激しい中で私たちは生まれ、本日までの20年間を生きてきました。

そして、現在も「コロナ禍」という大きな社会的変化に見舞われています。

このコロナ禍は、私たちの生活を劇的に変化させ、沢山の悲しみや苦しみを運んできました。

しかし、必ずしも「悲しさや苦しさ」だけではないと思います。

これまでの当たり前が当たり前でなくなったからこそ、今まで普通にできていたことに感謝の気持ちを持つことができ、周りの友達や家族、支えてくださる沢山の方々との繋がりの大切さを、身に染みて感じる事ができたと思います。

これからも、社会的変化は多くの分野においてさらに加速し、私たちはその変化に対応していかなければなりません。

いざ壁にぶつかったときは、これまで過ごしてきた20年間を振り返りながら乗り越えていこうと思います。

希望溢れる未来へと日々一歩ずつ歩んでいけるよう、周りの支えや環境への感謝の気持ちを忘れず、自分を信じて前へ踏み出し続けることを誓います。



成人式の様子



令和3年度 各区青少年指導員会 研修会一覧

区	日 時	内 容	参加者数
堺	11月30日(火曜)	第1部「青少年指導員の役割について」 堺区青少年指導員会 会長 藪内寛之 第2部「里親制度を知って下さい」 児童福祉施設愛育社 里親支援専門相談員 池田裕一さん	21名
中	11月26日(金曜)	第1部「青少年指導員の役割について」 中区青少年指導員会 副会長 藤井孝誠 第2部「里親制度を知って下さい」 児童福祉施設愛育社 里親支援専門相談員 池田裕一さん	15名
東	書面開催	青少年指導員の役割について 小中学生向けの薬物乱用防止パンフレットの配布	—
西	11月24日(水曜)	第1部「青少年指導員の役割について」 西区青少年指導員会 副会長 西哲史 第2部「e-ネット安心講座」 総務省近畿総合通信局 稲垣裕介さん	21名
南	11月26日(金曜)	第1部「青少年指導員の役割について」 南区青少年指導員会 会長 西村保廣 第2部「地域と学校の連携・協働について」 堺市教育委員会 学校指導課 主任指導主事 土屋千紗さん 地域教育振興課 深澤泰宏さん 大阪教育大学 教育学部 堂本雅也さん	25名
北	11月25日(木曜)	第1部「青少年指導員の役割について」 北区青少年指導員会 会長 奥田一彦 第2部「地域と学校の連携・協働について」 堺市教育委員会 学校指導課 主任指導主事 土屋千紗さん 地域教育振興課 深澤泰宏さん 大阪教育大学 教育学部 堂本雅也さん	27名
美原	11月18日(木曜)	第1部「青少年指導員の役割について」 美原区青少年指導員会 小村悦子 第2部「JETBOOK作戦」 一般社団法人JETBOOK作戦 山内ゆなさん	34名

西区研修会に参加して



福泉校区 池側 昌男

令和3年11月24日(水)午後7時30分から西区役所において、西区青少年指導員会研修会が実施されました。第1部テーマは「青少年指導員の役割について」と題して、西区青少年指導員会副会長の西哲史さんから、青少年指導員の役割についての説明をしていただきました。内容としては、1 青少年指導員とは、2 堺市青少年指導員連絡協議会、3 組織図、4 協議会活動、5 西区青少年指導員会、6 活動内容、7 大阪府青少年健全育成条例等についてお話しいただきました。

第2部テーマは「e-ネット安心講座」と題して、総務省近畿総合通信局の稲垣裕介さんをお招きし、ご講演いただきました。内容は「インターネットの安心安全な使い方」で、ネット依存・ネットいじめ・不確かな情報の拡散・誘い出し・なりすまし・個人情報漏洩・ネット詐欺・著作権・肖像権等の具体的な内容について説明があり、これらの対策として「トラブルに遭わないための3つの柱」①ルール作り、②機器とアプリの設定、③フィルタリングについて紹介をうけました。

インターネット環境整備法とスマートフォンでWi-Fi利用時でもアプリをブロックできるフィルタリングサービスについての説明も受け、子どもを守るため必要で重要な対策と感じました。

今回の研修内容を校区の青少年指導員さんと主だった団体の役員さんに報告し、地域で子どもを守るため、子どもたちを取り巻く環境に寄り添いながら、今後の活動に生かしていきたいと思っております。

中区研修会を振り返って



深井西校区 澤本 美奈子

令和3年11月26日（金曜）、堺市中区ソフィア堺の第1研修室にて、中区青少年指導員会の研修を行いました。

研修会では西川明尚中区长にもごあいさつをいただきました。

第1部のテーマは、「青少年指導員の役割について」。

藤井中区副会長が、青少年指導員とは、青少年が健全に成長することができるように地域での人的・物的環境をつくる有志のボランティアですと報告があり、制度開始から現在の活動について、お話しいただきました。中区独自の取組として、例年8月に各校区から2～3名が合同で深井駅周辺の巡回をしていることなどが報告されました。

第2部のテーマは「里親制度を知って下さい！」

講師は児童福祉施設愛育社里親支援相談員の池田裕一様にお話ししていただきました。

驚いたのは、日本の里親委託率が低いことでした。オーストラリアや香港、アメリカでは75%以上ですが、日本では20%くらいの委託しかありません。

日本の都道府県別でも堺市は低いほうです。理由は、受け入れ施設が少ないことでもあります。里親についての理解が進まないこともあるのかもしれない。

里親には、養育里親、養子縁組里親、専門里親、親族里親などの形があります。

個人でできることを見つけ、協力できることから参加してみるのも大切なことなのかと思いました。

普通で家庭で、普通の生活を体験することで、家庭の事を知り、自ら家庭を築くためのパワーを子ども自身が身につけて成長して、素敵な家庭を築いてほしいと思います。



美原区青少年指導員研修会－JETBOOK作戦－

美原西校区 智葉 真理

新型コロナウイルスの感染者数が落ち着きをみせた令和3年11月18日（木）、もうすっかりと定着した感染防止対策をとりながら美原区青少年指導員研修会を開催しました。

講師にお招きしたのは、一般社団法人JETBOOK作戦代表の山内ゆなさん。なんと今年高校を卒業したばかりの19歳大学1年生（娘と同じ歳です）。人前で研修会といった形式で登壇されるのは初めてということもあり、少し緊張気味に始まりました。

ゆなさんは、今春、幼い頃から生活してきた児童養護施設を卒業されました。そして施設に何かできないかと考え、「JETBOOK作戦」と題しクラウドファンディングを利用して資金を集め、施設に本を贈るというプロジェクトに取り組まれています。

きっかけは、施設で生活していた時に年下の子どもたちから「本を読みたいから国語の教科書を貸してほしい。」と言われたことにあります。

このプロジェクトを通して、

- 施設のことを知ってほしい
- 子どもたちが情報を得る機会を増やしたい
- 本を通して施設外社会との繋がりをつくりたい

と、ゆなさんは言っています。

今回、青少年指導員として繋がることができました。

人と繋がる。地域、社会と繋がる。小さな繋がりが大きな力になると信じ、青少年が健全に成長することができる社会になるようこれからも励んでいきたいと思っています。

最後にゆなさんのことばを借りて、全ての子どもが「好き」や「やってみたい」に挑戦できる社会になりますように。



原山の空に打ち上げ花火

原山台校区 前田 光一



新型コロナウイルスが一昨年から猛威を振るい、地域活動など人が集まるイベントができなくなっている中、コロナの終息を願い、また原山台の青少年の健やかな成長を祈願し、見ている人に笑顔と元気を届けたいとの思いで昨年に引き続き、10月16日に花火の打ち上げを行いました。密を避けるために、打ち上げ時間の詳細は非公表としました。

主催は、原山台校区青少年健全育成協議会で、青少年指導員会も共催しました。

消防法の関係上、打ち上げ花火は75発とし、業者に委託しました。

打ち上げ地点の原山台中学校から半径100mを立入り禁止とし、青少年指導員、防犯委員、PTA役員、連合自治会役員などが力を合わせて警備し、密にならないように注意するとともに、緑道の一部を短時間、通行止めにして実施しました。

間近で天空一杯に広がる花火に、子どもも大人も圧倒され、感無量となりました。地域の方々からたくさんの感想をいただきました。

その一つを紹介します。

「花火素敵でした。近くで見ていた人たちも拍手していました。一人暮らしの女性も涙出てきたと言っていました。本当にありがとうございました。」

この打ち上げ花火を恒例行事とし、コロナ禍が収まれば、他のイベントと組み合わせて実施できないものかと思案するところです。



ハロウィンフェスタ2021浅香山

浅香山校区 真鍋 勝是



10月30日(土)、今回で2年目となるハロウィンフェスタを開催しました。

浅香山校区内の一部の商店街を中心に、各種団体・商店・関西大学の地域連携も協力いただき、子どもたちも様々に仮装し、20ヶ所のお店などでささやかですがお菓子がもらえるというイベントです。

当日は天候に恵まれ、1時間ほどで約400人強が集まるほどの大盛況でした。

さかのぼれば2020年、年始早々からまたたく間に広がったコロナショックにより、イベントや催し物は次々と中止と延期が続き、校区内でも毎年子どもたちが楽しみにしていた「大和川水辺の楽校」や夏の「大和川まつり」をはじめ、すべてのイベントが中止となりました。

当時、校区青少年指導員メンバーで連合会長でもあった中島良治氏の「子どもたちが夏休みもどこへも行けず何にもなくかわいそう過ぎるから、大人が知恵をしぼって短時間でハロウィンのイベントをしてあげたい」という発案から、校区連合、青少年指導員をはじめ商店街エリアの各店舗、各団体、委員会に働きかけました。

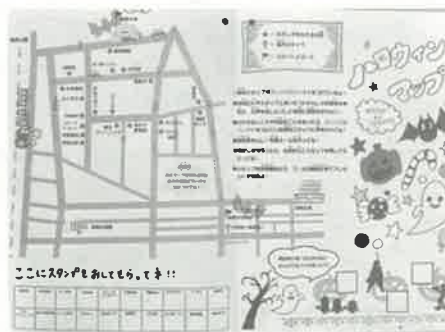
「こんな時期やから子どもたちのためになんかしてやりたい」という気持ちはみな同じでした。

できるだけ短時間で密になりにくい方法を色々出し合い、2020年10月31日に1回目を無事に大盛況で開催できました。

2021年は、引き続き緊急事態宣言で集まることも難しい中、前年の反省も踏まえてより綿密に会議を重ね、当日を秋晴れの晴天の中で無事終えることができました。

発起人である中島氏は、2回目のハロウィンをとっても楽しみにしていましたが、昨年秋頃からの病魔により開催の1週間前にこの世を去りました。

「いつも子ども達のため」と子ども達のことを中心に考えていた彼の志を受け継ぎ、今後も青少年指導員として行動できたらと考えています。



成年年齢引き下げに伴う成人式について

令和4年4月施行の民法改正により、成年年齢が18歳へ引き下げられますが、市では、令和5年1月実施以降の成人式を20歳を迎える方を対象として成人の日を実施することを決定しています。

なお、式典の名称については、市で今後検討した上で決定されます。



令和3年度大阪府青少年指導員連絡協議会表彰 おめでとうございます！

令和3年12月9日に次の方が大阪府青少年指導員連絡協議会から表彰されました。

○黒山校区 上野 忠志 さん

今後も青少年健全育成活動でのご活躍を祈念します。



編★集★後★記

中国の武漢で新型コロナウイルスへの感染が報じられてから2年余りの年月が経過しました。その間、世界のいたるところでパンデミックが起きました。

日本も例外ではありませんでした。ニュースで一日の感染者数や重症者数、死者数が報じられる度、気持ちが内向きになっていくように感じたのは私だけでしょうか。また、緊急事態宣言が発出され、気持ちだけではなく行動も内向きとならざるを得ない日々が続きました。新しい生活様式もすっかり定着したように思います。

こうした難しい状況下にあいながらも、わたしたち青少年指導員は細々ながらも活動を止めることなく地域づくりの一助となるよう苦心して活動を続けてきました。

このような時だからこそ、青少年指導員連絡協議会の研修紙として少しでも前へ進もうという取組の様子を紹介できないものかという思いで編集会議に臨みました。

本号では、成人式記事をはじめ、ようやく実施できた区研修会からの報告に加え2つの校区から思いのこもった取組を紹介することができました。実施にあたり数々の困難があったことは想像するまでもありません。

また新たにオミクロン株の感染が猛威をふるっています。世の中の状況はもとの戻ることはないかもしれませんが、水のように器の形に柔軟に順応しつつ、地域のつながりと笑顔ある地域づくりを目指して活動を続けていけることを願います。

(浅香山校区 数内寛之)